



# 見沼小だより

学校教育目標 「仲良くする子」「元気な子」「考える子」

平成28年度第3号

平成28年6月1日発行

TEL 048-663-7342

FAX 048-663-9887



体験を通して培う心

校長 大澤 淳

木々の緑も濃くなり、日も伸びてきました。爽やかな初夏の陽気の中、5年生の児童と「自然の教室」で館岩少年自然の家に行ってきました。出発前は心配だった天候にも恵まれ、すべての活動を予定通りに行うことができ、いろいろな体験をすることができました。厳しい登り坂が続いた登山では、くじけそうになる友だちにたくさん声を掛け、互いに励ましながら登っていました。イワナさばきでは、イワナに触ることを怖がった子も「いただきます」の意味や「命の大切さ」を知りました。また、焼き板で「焼きすぎたかな」と焦っていた子、源流体験でびしょびしょになった子、ナイトハイクでは夜の暗さに恐怖を感じていた子など、普段は体験できないことに出会い、たいへんなこともみんなで力を合わせることで一緒に乗り越えられることを実感していました。そして、キャンプファイヤー。大きな炎に威厳を感じ、また、粛々とキャンドルの火を友だちに広げたときは、全員がひとつの大きな仲間の輪になり、とても感動的な時間をともに過ごし、仲間の絆がさらに深まっていったのではないかと思います。

自然の家では、自分のことは自分でしなければなりません。最初感じていた不安は、活動を終えるごとに徐々に自信に変わり、子どもたちの表情が変化していきます。「自然に親しみ、心と体を鍛えるとともに、互いに高め合う見沼っ子」という自然の教室の目標は、しっかりと達成することができました。このような体験を通して、培った思いやりや友情はたいへん貴重なものです。これからの学校生活の中で、しっかりと活かしてくれることを願っています。

学校では、それぞれの学年に様々な行事があります。多くの経験を通して、仲間への友情や思いやりの気持ちや心をしっかり育み、成長して行ってほしいと思います。

6月は、いじめ撲滅強化月間です。そこで昨年同様、今年も、「いじめ」について、次の3つのことを児童としっかり約束し、友だちを思いやる心を大切にしていきます。

- 1 「いじめ」をする子は、許しません。  
相手が嫌がっていることを承知で、言ったりやったりするのは「いじめ」です。  
とても悪いことで絶対に許されません。
- 2 「いじめ」を見て知らんふりをしている子も、許しません。  
いじめられている子は心の中が大きく傷ついています。ひどい言葉や行為を見たり聞いたりした時に「やめなさい」と言えない子はいじめている子と同じです。
- 3 あなたには「いじめられる」理由はありません。  
あなたは、人として胸を張って生きていくために生まれてきました。それは誰にも邪魔されるものではありません。お父さん、お母さんから引き継いだ命を大切に成長させていってください。